

## 解答

### 問題 1

食肉生産のための家畜飼育は、植物を人間が直接食べるよりも効率が悪く、多くの温暖化ガスを排出するなど、さまざまな環境負荷を引き起こしている。また、中所得国の富裕化に伴って肉食が増え、その問題がさらに悪化すると予想されている。その問題の解決策として肉食を減らすことが考えられている。専門家の中には、肉食を完全にやめて、食肉生産のための土地を元の植生に戻して二酸化炭素を吸収させる必要があると言う人もいる。

(200 字)

### 問題 2

#### (解答例 1)

肉の消費削減は部分的でよいという考え方と、完全にやめるべきだという考え方がある。前者の考え方が妥当である。たしかに肉食には温室効果ガスの排出や森林破壊といった様々な環境への負担が伴うため、畜産が現在の規模で行われるべきではない。しかし、食肉産業は世界的に非常に大きな規模であり、それがなくなれば多くの人が生活に困るだろう。よって、部分的に削減する方が世界経済への影響が少ないと考えられるからである。

(199 字)

#### (解答例 2)

肉の消費削減は部分的でよいという考え方と、完全にやめるべきだという考え方がある。後者の考え方が妥当である。たしかに肉食を完全にやめると、食肉産業に従事している多くの人が失業するだろう。しかし、畜産が地球環境に与える影響と現在の気候変動の深刻さを考えると、部分的削減では間に合わない。10 年分の化石燃料による排出分を相殺するのに 25～30 年かかるというハイエクラの試算を考えると、全廃する方が適切である。

(198 字)

### 問題 3

Those who oppose eating less or no meat might argue that a radical reduction of livestock numbers would have a great negative impact on livestock producers and feed crop farmers. We cannot implement such a significant reduction without first explaining to them how eating less or no meat could reduce environmental risks, with some concrete data. Additionally, the government should provide sufficient support to help these individuals get a job where they can take advantage of their existing skills.

(79 words)